

あおもり教育研究発表会 2021

一次案内

今年度は、各学校に急速に普及しているICTの活用方法に関わる内容に重点を置き、講演会、パネルディスカッション(新規)、センター研究発表(新規)にて提案いたします。

とき

令和3年11月12日(金)

ところ

青森県総合学校教育センター

午前か午後どちらか半日でも、御参加いただけます。

【講演会：14:40～16:20】



講師：東京学芸大学

准教授 高橋 純 先生

演題：「学びの質を高める ICT 活用(仮)」

研究分野

- ・教員の ICT 活用によるわかりやすい授業づくりに関する研究
- ・アクティブ・ラーニングなど、深い理解を得るための学習過程の質的改善に関する研究
- ・児童生徒1人1台 PC の活用による資質・能力の育成に関する研究
- ・情報活用能力育成のための指導法に関する研究 他

= 予定している主な内容 =

- ☆ **センター研究発表**
当センター指導主事によるグループ研究から、学校で使える ICT を活用した授業アイデア等を提案します。
- ☆ **研究員研究発表**
当センター2年目研究員による研究の発表です。
- ☆ **小学校、中学校、県立学校 ICT 実践発表**
各校種での ICT 活用実践の様子を紹介します。
- ☆ **パネルディスカッション**
各校実践発表者による意見交換の場です。
- ☆ **講演会**
今後の ICT 活用に関するヒントがここにあります。
- ☆ **研究員研究展示**
当センター2年目研究員の、研究についてのポスター展示です。
- ☆ **各種展示**
特別支援教育教材教具展示会、センター所員による図書資料室の書籍紹介ポスター等を展示します。

令和元年度の様子

県内各校・園の実践発表

研究員研究発表



● 研究員研究のテーマ

長瀬 友起 (教育相談課)	中学校における生徒の教師に対する信頼感を高める関わり方の研究 - 校内研修を活用した教師のコーチング力の向上を通して -
古舘 泰史 (教育相談課)	小学校中学年における「他者と関わる力」を育てる指導法の研究 - 対人関係スキルの習得・活用プログラムの作成と実践を通して -
對馬 綾子 (教育相談課)	不登校生徒の心身の健康に関する研究 - 心と体の健康促進プログラムの実施を通して -
阿部 忍 (特別支援教育課)	中学校の通常の学級における生徒のつまづきや困難さに対する教員の関心の高まりを目指す研究 - ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを通して -
澤田 秀史 (義務教育課)	小学校国語科において、意見文を書く力を育成する指導法の研究 - 説明的な文章の単元で語彙と文章構成の指導を関連させた学習を通して -
接待 裕行 (義務教育課)	中学校社会科地理的分野において、比較し、関連付けて多面的・多角的に考察し判断する力を育てる指導法の研究 - コア・マトリクスの改良と地域の在り方を構想する学習活動を通して -
工藤 壮史 (義務教育課)	中学校数学科「データの活用」の領域において、予測や判断を数学的な表現を用いて説明できる生徒を育成する指導法の研究 - 予測や判断を確かめる活動とその振り返りを通して -
田中 輝一 (産業教育課)	小規模校における協働学習の充実を目指して - 遠隔合同授業を用いた中学校数学科の授業実践を通して -

◆ 新規の企画

センター研究



これまでの「プロジェクト研究」の見直しを図り、すべてのグループに「**学校におけるICTの効果的な活用**」という共通の研究テーマを設け、教科毎に研究を進めます。

パネルディスカッション



ICT活用の実践発表者がパネラーとなり、実践時の苦労や今後のICT活用への意見交換などを行います。終了後、講演会講師の高橋准教授から講評があります。

＜お問い合わせ＞

Tel:017-764-1990 Fax:017-764-1989 佐藤、平川、沼山(青森県総合学校教育センター)

* 発表内容や申込方法等の詳細については、9月に最終案内を各学校・関係機関に送付予定です。たくさんの皆様の御参加を心よりお待ちしております。

